THE WOMAN'S WEEKLY
第四卷　第十七號
大正七年四月廿六日發行　(毎週發行金曜日)　大正三年四月十一日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□靈に餓えた人……小橋三四子
□時事週評……
□什一の献物……廣岡淺子
□短歌「新窓の春」……錦織くら子
□我れ再び廿一歳なりせば……ゴルドン博士
□時評……
□日本にたつた一人の女書畫屋さん……佳子
□戰時の歐米に窮乏の極に陥つて居る……服部中佐
□東京見物―其の六日……記者
□女性的露西亞……片上[illegible]
□讀者から……
□音樂の學習……鈴本のぶ子
□家畜の病氣……渡邊家畜病院長
□菓子料理……記者
□支度は前晩に……斬雲
□オハナシ「金の鵞鳥」……悠子
□小說「手紙」……渡邊たみ子
□時事……編輯室から

定價一部五錢　郵税五厘

婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

徳富健次郎著

新春

定價壹圓六拾錢・送料金八錢

三六判四百六十頁・緣金裝羽二重表紙

泣く泣く樂園を追放されたアダムイヴが相挈へて踊りながら埃田に歸る時節が來ました。永い間の流浪苦勞に、かさね〴〵た虚僞粉飾の十二一重を脱ぎ捨てゝ、純眞赤裸の自然男自然女に立ち歸つたアダムイヴ、瑞々しい人類の春は其足下から蘇らねばなりません。眼まぐろしい世相の種々、煎じ詰むれば男女問題が根源です、新世界の一切の基礎は、自然男女の潔められた結合を單位とせねばなりません。世界に滿つ夥しい血の流れ、罪の苦しみ、さもあらばあれ新しい春、人類の春は來ました。其春を告ぐる雲雀の第一聲が此「新春」であります。

著者は大なる喜悅を以て、イヴの裔なる髮長き人達に此「新春」を呈します。

著者スケッチ色刷二葉・特撮寫眞五葉

□ 版元 東京市京橋區卅間堀三丁目 福永書店 振替口座東京四〇四六六番 □

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

霊に餓えた人

□郊外の散策

まだ一週間前は花も醜くからぬ程に梢に殘つて居りました。のどかな春日に誘はれて、その半日を郊外に遊びました。ぶら〱歩いて居ると、板橋の方に出ました。噂に知る「縁切り榎」は程遠からぬ由を聞いて、物數寄な私は、其處を覗いて見やうと思立ました。板橋街道を下ること十數丁、とある川添ひの家に、徑四五尺もあらうと思はれる枯れた榎に注連を張り、傍らに十數年を經たらしい新緑の榎の立つて居る家がありました。「此處に違ひない」と門を入つて椽側から覗くと、半間の開き戸續きの、離れ家に、大太鼓の横に小机を控えて、白衣を着けた赫ら顔の人が坐つて居ります。「縁切り榎は此處ですか」と聞くと、「其處ではお話出來ません。向ふの入口から入つて下さい」と云ふので、私はよい事にして鍵形に曲つて一間先きについて居る入口を入つて、土間に腰かけて居りました。

□縋る祭壇

中には白木の壇上に、鏡を安置しお供物を山と供へてあります。顔一杯に憂ひを疊んだ三十斗りの束髪姿に黒襦子の襟をかけた婦人が、しよんぼりと坐つて居りました。「その女は邪魔者ですな」「女の名は？年は？男の名は？年は？」等と聞いて、先きの男は帳面に記し、やがて匆體らしく取出したのは、茶色と白い粉外に何やらの三封でありました。「これ丈けで廿日分です耳搔きに一杯宛飲むのです。これは男と女の食べ物に入れておやりなさい、これは家庭圓滿の御利益があるもの故、家族一同でお飲みなさい。皆で四十八錢です。外に御祈禱料五十錢、一圓のもあります。」と、名所の案内者の云ふやうに、滔々述べ立てるその申條は、寧ろ滑稽な程商賣染みて居りましたが、「苦しい時の神頼み」に夢中になつて居る女は、云ふが儘に金を拂ひやがて向き直つて長い間合掌し、無言に解釋して出て行きました。私は「遣る瀨ない」といふ態を、この女の上にまざ〱と見せられました。

□大流行

「あなたは？」と男が聞くので「私はたゞ見せて戴きに來たのです」と云ふと、男の眼はちらと鋭く光りました。「煩悶引受所ですね、毎日幾人位來ます」と矢繼ぎ早に出す質問に、仕方なしに男は答へ初めました。「毎日十人は下りませんね。この通り全國から來ます」と帳面を一寸差出すのを見ると、靜岡、日本橋、千葉などゝ記してあります「もう數百年來の事、この多數の人の念力丈けでも、大したものです。この茶色の粉ですか？これが榎を粉にして消毒したものです。」とて、來る人は男もある事、大抵は邪魔者を離す爲めに來る事や、次第に溯つて榎の由來、その顯著な功德などを語り出しました。私はもうこの上馬鹿らしい時間を費すに堪へなくなりましたので、よい程に切り上げて外に出ました。

□枯木一本に信頼

私は熟々と枯た榎を見て、この枯木一本にさへ頼たいと云ふ人の心を限なく憐なものに思ました。昔ポーロがアゼンスに於て此處彼處に偶像を拜する者多きを見て「われ途を行とき爾曹

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

崇敬拜ところの者を見しに、識らざる神にと刻書し一の祭壇を見出せり。故に爾曹が識らずして敬ふ此者を我なんぢらに示さん」と叫んだ千九百年前の光景を、今此の首都の程遠からぬ處に見出さうとは。何物よりも昔の儘の姿に殘つて居る人の心を偶然に見過す事は出來ませんでした。拜みたいといふ要求が、古今東西共に變らぬのは、人の奪ふべからざる本性であるからであります。自力以外は賴まぬと、强がる人が、適々大な打擊に遇ふ時はその固い核は破れて本心のほのめきが初めて現はれて參ります。この時俄かに物に縋らうとすれば、枯木一本にも、無限の有難さが湧くのでありませう。然してこの時痩我慢しつゝ衷心の叫びをも、なほ抑へて終ふ人々に比らぶれば、愚夫愚婦の如く見える彼れ等の方が、寧ろ自然であり正直であります。

□内面生活の枯渇

「生れつきの儘なる人は神を見ること能はず」と申しますが、一朝にして、正しい神を見ることが出來ないのは、一朝にして博士となれぬのと同樣であります。我が呼び求むる時、眞の神の應答を聞かうとするには、日頃の用意がなくてはなりませぬ。その用意はさま〴〵の不純な核が取付かぬ前に、無垢な本心を導き出し、これに適當な指導を與へる事が大切であります。智識敎育は學校で行はれても、宗敎々育に就ては、殆ど其の機關を持たぬ、我が社會は、いかに智識は啓け、人文は進んでも、其の本心は野蠻の儘に傳はり、遂に內面的に其の生命が枯渇して終ひませう。

□宗敎心の萠芽

小供の心を忘れた大人が、勝手な指導を與へて、人間を破壞して行く上に、最も顯著に其の障害を見るのは、宗敎心の培養に就てゞあります。たとへ親や敎師に其の敎養があつても、文部省を恐れ、社會の目を憚りつゝ虛僞の敎育に陷つて行きます。この時二葉のやうに美しく萠え出た兒童の宗敎心は、無慘にも踏みにじられて終ふのであります。而して成人の後幾多の蹉跌に遇つて、傷き痛んだ末に、やう〳〵大なる慰め人、癒し人を求めなければならぬことは、いかにも無慘なことに思はれます。

□見えざる神

迷信は靈の敎養のない人が、打擊によろめく足を、早く踏みしめたさに、邊り構はず縋り付く處から起るものであります。私共の靈が正しく順序を追ふて導かれたならば、音樂家が訓練によつて微妙な音に觸れ、美術家が私共の住む同じ世界にありながら、美を見出して行くやうに、見えざる神に明らかに接して行くとが出來ませう。或醫師の大家が「造化の妙」を說きながら「到底人力の企て及ばぬこの巧みは、どうして出來たか、神と云ひたいが、そんな偉

二

大な神ならば、どうして肉眼に見え、この手に觸れる事が出來ないだらうか、然し人力以上の力、それは確かである。私はこれを造化と呼ぶ」と堂々會衆の前に述べられました。それ程に明らかに神の御業を見つゝなほ見えぬ、觸れぬと云つて神を疑ふ心を、いかにも氣の毒に思ひました。そしてこれが我が日本に於てはいかにも賢い事のやうに響いて、恥ぢざるのみか、一種の誇りであるやうにも見えるのを、厭はしい事に思ひました。

郊外散步は圖らず私に靈に饑えた人の憐れさを敎へて、これに向つて最上の餌を供給する事の急務を悟らせました(三四子)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

什一の献物

若き人々へのわが言葉

廣岡淺子

□家運輓回の氣運

維新の世の變動と共に沒落せんとした廣岡家を、双肩に擔つて起つてから四五十年の苦心慘膽に、漸く家運輓回の氣運に向ひ、人目には成功者の如く思はれた私の生涯も、實は近頃迄決して安神の出來る境涯ではありませんでした。十數年前嗣子に家督を讓る際には、僅かに銀行は十萬圓の資金でありました。外に保險會社、殖產會社等、可成り手を擴ろげて居りましたが、まだ山のものとも海のものともつかぬ不安の狀態であつて嗣子初め重役等の骨折りも一と通りではありませんでした。私も事業の種子を八方に蒔いては置きましたが、私かに皆に氣の毒の思ひも致しました。

□私の墓前にも捧げよと

然るに其の後數年にして、事業も漸く緒についたので、家人重役打ち寄つて、家憲の如きものを編みました。この中に純利は折半して、半ば基本金に積立て、半の五分の三は廣岡本家別家のものとし、五分の一は重役に分ち、餘の五分の一は永久に廣岡淺子のものとして、死後もなほ墓前に捧げられたい。これを以て社會公共事業を營んで行くやうにしたいとの希望を述べ、皆も承認して、この規約に記名調印致しました。

□不思議な導きを受け

今から十年前、齡還曆に達して、私は不思議な導きを受けて基督教信徒となりました。過る六十餘年間怠つた精神の教養は夙夜勤めても、尚及ばざる事遠きを思ひました。それ故三伏の夏期をも惜しんで御殿場在の二の岡の地に師を聘して熱心に研究を續けました。然るに四年前の夏、地震の際同地邸內に一つの割れ目が出來て、泉が湧き出でましたが、いかにも水晶のやうな、淸冽な水なので、その道の博士に分析を願ひますと、ラヂユームを含んで居るとの事で早速靈泉として屆出をしました不思議な事にはこの頃から私が過る六十年間苦心經營した事業は、恰もこの泉の如くに非常な勢ひを以て發展しました。僅か十萬圓で嗣子に讓つた銀行は三十萬、百萬を經て五百萬圓に增資し、弘益殖產會社は三百萬圓に、保險會社も亦百餘萬圓に達し、合計千萬圓の資金が充實しました。私はこの泉を「惠の泉と」命名して、精神上にも物質上にも、汲み切れぬ恩惠を授けられた事を感謝致しました。

□什一の献物

或る日ふと聖書を繙いて、舊約の最後の書「馬拉基」を讀んで居るとかういふ句が目にとまりました。「人神の物を盜むことをせんや、されど汝らはわがものを盜めり、汝らは又何において汝(神)の物を盜みしやと云へり十分の一および献物に於てなり汝らは呪詛をもて詛はる、またなんぢら一切の國人はわが物をぬすめり。わが殿に食物あらしめんために、汝ら什一をすべて我倉にたづさへきたれ。而して是をもて我を試み、わが天の窓をひらきて、容るべきところなき迄に、恩澤を汝らにそゝぐや否やを見るべし」と。神を試みよとは、聖書中只此處一ヶ所に見る計りであります。而して十分の一の献物をして、神を試みれば、神は必ず天の窓を開きて、容るべき所なき迄の恩澤を授くるとありますが、實にその通りであると感じました。私がまだ基督信徒とならぬ前に、定めた家憲は、圖らずも十分の一を社

三

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會公共事業に投ぜよと云ふ事があります。基督信徒となつた今日は、その十分の一は申す迄もなく神に捧ぐるのであります。而して人は迷信の如く思ふ神の約束は、私に於ては目の邊りに見うる實際でありました。この事の成り行きを、或る西洋人に話しますと、忽ち手を拍つて、米國に於てモツト博士が嘗て百萬長者の身の上を調らべて見た處が、一人として什一の獻物をして居らない人はなかつたと話されました。

□知識上からも同様

私は人が「廣岡さんも昔から信者であつたら、お金は出來なかつたらう」と云ふ事をよく耳に致します。誠に馬鹿らしいことのやうですが、世には精神と物質とは共に富む事が出來ないと誤解して居る人が決して尠くはありません。然し私の經驗から申しますれば、精神上に富んで、彌よ物質上の恩澤をも蒙り物質を私心を挾まずに神に捧げる事に依つて、世を益す事も大きいと思はれます。知識上に於ても同様、信仰生活が恰も知識を阻むかの如く考へて、衷心の叫びに耳をも藉さずに、世に妥協した生活をして居る者がありますが、かういふ人は決して大きな成功はしない、生きた字引きになるか、世に調法な才子となるに止まりませう。恰も什一の獻物をなすが如く、わが知識をも神に捧ぐる事が出來て、初めて俗物でない天來の知識に光彩を放ち得る學者となる事が出來ませう。

□何物よりも尊き寶

私は取返しのつかない過去を悔ゆる間に、たとへ老境に及んでも、專心進んで、わが靈の敎養に務めたいと勵んで居ります然し「汝の若き日に救ひ主を知れ」とは、世の若い方々に贈りたい私の言葉であります。既に智育體育の重んずべき事は、何人も知つて居りますが、人間として最も大切な靈育にかけては、人々の冷淡なのは、肉眼の僅かな力を賴む人間のかなしさであります。私は六十年の經驗を經て漸く其の門口に導かれ、十年の苦心を以て握り得たこの實を、何物よりも尊く思ひ、また廣く世の人々に頒ちたいとは、切な私の希望であります。

新窓の春

錦織くら子

うつゝなく菜種に甘き蜜吸へる
胡蝶の我もよく新窓の春

身は化して大空を舞ふ黄と紅の
二つの胡蝶現なきかや

ヒヤシンス深き神秘しのべとや
黄に紅に紫に咲く

打默す隱者にも尚時ありと告ぐ
るに似たり春の郊外

春光に映ゆる山紫よ水明よ見よ
大神の創造の跡

主に生くる幸よ常幸此の世なる
カナンに安き生を歌へる

春なれば圓窓洩るゝ三味線の忍
び音さへもよしと思ひぬ

縁日の野店の前にさすらひて時
過す夜も春なりし哉

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「我れ再び廿一歳なりせば」

ゴルドン博士

博士は米國ボストン市組合派の牧師の權威であります。こは同氏の筆にせる表題の少冊子から抄譯したもので有ます。

今廿一歳であつたら

ヂスレリーは「青年はあせり、壯年はもがき、老年は悔ゆるものなり」云つたが私は然う思はない。眞に意義ある生を送つた人にとつては、過去は樂しい思出である。牧師トランブル氏は、寫眞師が、自分の老いたる顏の皺を消した爲めに、其の寫眞を送り返したと云ふことである。智慧と云ふパンは急には燒けない。ルナン教授は「人は四十歳にならなくては立派な作は出來ない」と言つた。そこで私は、今再び二十一歳であつたら、何うするであらうかと云ふことを、述べて見やうと思ふ。

第一

私は一日に二十分間は特に體育のために用ひるであらう。何でも、肉體の活動を豐かにして、自然に發達させなくてはならぬ。笑つたり、歌つたり、背延びしたり、歩いたり―不幸にして自働車を有つて居なかつたら神に感謝してお歩きなさい。健全な肉體は第一の資本である。健康ならざれば何事をも成就し得ない。

第二

私は獨創的思想家たらんために研究努力するであらう。かのジョン、ミルトンは「想像に想像を加へ、驚いたり、怖れたり、疑つたり、而して嘗て何人も夢見なかつた事を夢見た」と傳へられ、かくて千古不朽の大傑作を殘したのである。他人の糟糠のみを嘗めて居るやうな事では到底駄目である。獨創家となれ！平凡な人間と獨創的な人間との區別は物事を考へると考へないとだけの相違である。

第三

私は二三の根本的確信を抱いて、一生を貫くであらう。然らば根本的確信といふ事は、どんな事かと云へば、則ち、神、眞理、正義、愛、法則、限りなき生命などである。バルワー、リットンは其の小説の中に主人公の失敗した理由を説明して、「他に何も理由はない、唯だ、自分は確信を缺いて居た」と自白せしめて居る。ルーテルの大事業も單に彼の確信から生れたのである。

第四

私は自分の靈魂が神の前に甚だ貴いものであると云ふ確信を以て生涯を始めるであらう。恰もキリストの如き考へを持ちたい、そしてユダにはなりたくない。我々はポーロの敎へた如く將にキリストに倣ふ可である。人間の標準をキリストに迄引き上なければならぬのである。

第五

萬べての事に內容を與へて行きたいものである。個々の思想、個々の言語、個々の行爲等、凡ての事に、意義と、內容と、實質とを與へたいものである。クリスチャンと云ふ事は「詰らぬ事にでも異常の意義を加へて立派なものにする」と云ふことである。ナザレの大工といふ取るにも足らぬやうに思はるる人の短かい生涯が、二千年間世界の人心を支配し來つたと云ふ豐かな內容を與へたのである。

第六

私は人間の努力の中で價値ある方面に大なる成功を遂げて見たいと思ふ。多くの人々は、詰らぬ事のために時間と、金錢と、精力とを費して居る。少しく自

五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

覺して世界的に眼を放つならば、人間の爲すべき價値ある大事業は實に澤山にあるではないか、平和問題、人道問題、人種問題、殖民問題、實業問題等、枚擧に遑ない程である。人類の前に掲げられた此れ等の大問題の一つをでも一生を投じて解決したいものである。

第七

毎日二十四時間と云ふ上に一つの親切といふ行ひを冠らせたいものである。アルツール、メッソン氏は名著者であつたが、老後病床にあつて、一生を省みて「自分は色々なものを書いたが、而も樂しい思出がたつた一つある。それは、ある巡禮に路を教へてやつた事である」と云つた。社會と云ふ大きな機械は親切と云ふ油が無くては、よく動かないものである。

第八

私は壯嚴な經驗に照されて生きたいと思ふ。自分の生涯には何處までも神々しい經驗がなくてはならぬ。ビリー、ブレーと云ふ人は、その信仰に入る經驗を述べて「自分に取つて萬物が悉く新しくなつた。人も、野も、獸も、草木も――自分は新しい世界に新しい人と生れ更つた」と云つて居る。斯かる經驗を有する人の一生は、どんなに神々しいものであらうか。

第九

私は老人の間に二三の友達を撰びたい。老人は經驗に富んで居る。その人々の賢明なる忠告は、どんなに我々を助け、又、力付けて呉れるか分らない。

第十

私は一年に一度は四福音書を通讀するであらう。キリストを知るには福音書に如くものは無い。キリストを四方面から書いたものが則ち四福音書である。一年に一度は少くも四つのキリストに接したいものである。

第十一

私は平凡でありたくない。平凡だと云ふ事は臆病だと云ふ事だ。自分の信念を貫徹せしむるには勇氣が要る。勇氣によつて自分の一生の進路を押し通したいものである。

第十二

毎日少しは美の世界に遊びたいものである。ルーテルは何時でも机の上に花を飾つて居たと云ふ。美を味ふと云ふことは實に好い事である。花でもよし、或は詩歌の一句でもいゝ。詩人バーンスは常に新約默示錄の七章十七節を愛誦して涙を流したと云ふ事である。美は吾人の人格を圓滿にするものである。

第十三

青春の花をキリストに捧げるであらう。私は私の生涯をイエスと共に始めるであらう。年老いて、不眞面目の火に燃やし盡した殘りの灰を、白髮と共にキリストの前に捧げるまで待ちたくはない。而もそれはキリストの語を研究したり、又その批評を聞いたりするのではない。實に積の生命をして、私の凡てを彼の聖前に降伏せしめるのである。彼を英雄として、彼を理想として、彼を無上の人として、彼を心靈の友として、彼を隠れたる導者として、彼を心の喜びとして、多くの讃美歌作者等が聲を合はせて、彼の名を讃美せる如く、吾々も朝な夕なに、終日、終夜、彼を讃美しやうではないか。

噂

▲日本女子大學校長成瀬仁藏氏は先頃のさしも重いチブスが全快した上に今年還暦の齢に達せられた事さて、頻りに子供に還つた心地を味ふさ云はれる。▲同校卒業生の團體櫻楓會はその總會の初日廿日に於て、校長の還暦祝ひさ回復祝ひさを兼ねて祝賀式を催した。何にも知らずに招待された校長は、席に就くさ、卓上にはあやめを飾り、菓子にはちまき、團子が出て、凡て五月の節句の樣である。やがて錢を持つた金時さ、北斗七星を畫いた平鳳の置物を贈られた、▲丸髷姿の奥樣達迄一同起つて「われ等の大事なお父樣、お生れかへりの嬉しきに、大勢の娘がニコ〳〵さ、元氣なお顏を見上げつゝ、お祝ひのうた歌ひませう。みんな揃ふて勇ましく」さ歌ひ出したので校長は聲を擧て笑はれて終つた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本にたつた一人の

女書畫屋さん

伊坂邦子さんの奮鬪

婦人の職業——それは近頃色々な方面に延びつゝある、けれども生馬の眼を拔くやうな、堂々たる男子の中に立ちまじつて、書畫骨董の賣買に、婦人が携はつて居るのは珍しい。

日本で唯だ一人の女書畫屋さんは、伊坂お邦さんといふ、今年卅一才の年増盛りである。お邦さんは本所小泉町十八番地に奥まつた小やかな住居をもつて床しい趣味にあこがれた生活をして居る。床には好きな掛軸をかけ、茶趣味に滿ちた道具の中に朝夕を靜かに暮らしてゐるその人の幸福さが偲ばれる。

＊＊

お邦さんは伊勢龜山酒問屋伊坂宇三衞さんの長女として生れた。何不自由の無い中で、深川の中村高等女學校を卒業し、十九才で或る醫師の許へ嫁ぎ、樂しい新家庭も夢の間、その翌年良人の死に依つて、お邦さんは白木蓮の花のやうな、若い寂しい未亡人となつた。つゞいて郷里では、母親が死なつたので、お邦さんは離籍して實家へ歸り老いたる父と、幼ない弟妹とを世話せねばならなかつたが、婦人の獨立といふ心の兆に鞭うたれたお邦さんは、けなげにも産婆學校へ入つて卒業した。丁度その頃、父親が商業の手違ひから、一家は俄かに衰運に傾き、打ち續いた舊家の一族も、その日の生活にさへ事欠く樣になつた。父が書畫道樂に身を入れた人だけに、幼きからその手入やら虫干しの手傳ひに、お邦さんは知らず識らず、其の方の趣味と觀識力とを養はれてゐた。

＊＊

お邦さんが女だてらに思ひ切つて、敏捷と懸引でもつ、男ばかりの書畫骨董師の仲間に入つたのは、まだ花恥しい廿一才の時であつた。沒落後の一家をかうして女の細腕に支へて來た十年間の惡戰苦闘にはいろ〳〵な涙の痕もあつた。けれども昨今では、世間の好景氣と成金の輩出から、書畫屋の黄金時代が來た。骨董屋の成金さへ數多く生れた。中にお邦さんも父の老後を安穩に暮させ、弟妹にも高等教育を授けて、望み多き前途を樂しんでゐる。

＊＊

お邦さんは東京はじめ京阪地方にまで、手を伸ばして書畫の賣買にいそしむ、鑑定眼もなか〳〵高くなつた、時には仲間の名ある男さへ、『これは一つ伊坂さんに鑑定を……』と持ち込んで來る事すらある。

しつとりと落ちついた其の住居に訪ねると、お邦さんは人懐こい眼で、笑ひながら語り續ける。始めは隨分苦しうございましたが、永年の經驗と先生方の御同情とで、どうやら鑑別も誤らず、商賣の呼吸も解つてきまして、大きな損もしなくなりました。最初は經驗の淺いくせに大膽と勇氣とで押通さうと、殿方に交つて大きな入札會などへも出かけましたので、大きな利もあつた代りに亦大きな損もしました。それよりも女は女らしく、地味な賣買をした方が安心で、經費も少ないと氣がつき、その方の組合を脫け一人でこつ

七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

〳〵とやつて來ました。今の大家の方々にも御同情をうけ、殊に先生方の奧樣とは、親しくして頂けますので、色々に都合のよい事があります。これは女同志といふ特別の御同情からだと有難く思つて居ります。それに世間でも女だけに信用もして下さり、段々經驗も積んで行くに從ひ、興味も出て、今では氣樂にやつて行けるやうになりました」と、お邦さんの面は自信と歡びの色がみなぎるのであつた。

＊

お邦さんはなほ語りつゞける

一私は近頃主に新畫を專門にして居ります。お出入を願つてゐる先生方ですか？　さう申すと生意氣の樣ですが二流以下の方とは餘りお近付がありません。極く御懇意に願つて居ます方は小室翠雲さん、川合玉堂さん、寺崎廣業さん、山內多門さんなどです。新畫でもよく似物が現はれますが、永年お入出してゐる先生方のお繪は、どんなに巧みに擬せてあつても、墨色一つにも、落疑の書體の筆法にも、その眞僞は判ります。書畫の相場ですか？　まあ値があつて無い樣なもので、買人と賣人の心と思惑が一致した處に値があるので、其處に面白い呼吸がありますo時には値段に關係なく、是非其の品をと望まれる方もあります。こゝらはまづ美術的な寛かな氣分の面白味かと思はれます」

かうしたお邦さんの姿は、毎日溢い色の風呂敷に包まれた細長い書畫を抱へて、小泉町の奧から、忙がしい世間へと現はれる。賴母しい生活の力のために！（佳子）

戰時の歐米は

窮乏の極に陷つて居る

臨時調査委員として戰時の歐米を視察して最近歸朝された服部中佐の談話の要旨はいかに今回の大戰が、各國を疲弊させて居るかを語つて餘りあります。左にその數節を揭げて見ます。

▲獨佛の戰線は、今や獨軍が一メートルに七人、十五メートルに大砲一門の割合を以て、固めて居る。日露戰爭の奉天の役は、可成り劇戰と云はれて居るが、なほ一メートルに一人四分、百五十メートルに大砲一門の割合であつた。

▲各國出征の壯丁と女も子供も老人も合せた全人口の割合を見ると、英は八人に一人、佛は六人に一人、露は十人に一人、伊は十人に一人、墺は五人に一人、獨逸は六人に一人で何れも十人以內に一人の割合である。日露戰役當時我が國は五十人に一人の壯丁を出征させたに過なかつた、

▲食糧問題は、各國共國民を窮地に陷れて居る。殊に全國民食糧の五分の三を外國に仰いで居る英國は、私が本年一月立寄つた際には、市にも店頭にも殆ど青い物などは見られなかつた。或る日下宿の友人を尋ねると、主婦は、「今あなたにコーヒーを差上げたいと思ふが砂糖をお持ちですか」と云ふ、「持たぬ」と云ふと、「それではこれは娘の分ではあるが、一つ上げませう」とやう〳〵に一つ惠まれた。それもその筈一月廿五日砂糖制限令が出て、砂糖を買はうとする者は、先づ傳票の如きものに、一方には名前、年齡職業を記し、別紙に買はうとする分量を示し、これを小賣商に持つて行くと此處で合計して各區に一つ位ある卸商に集め、此處で合計して更に地方食糧監督局に差出し、此處で合計して、更らに中央食糧監督局に差出し、食糧大臣の手許で、砂糖供給委員がこれを總計して、政府の船を借りて外國から買つて、前來た道を逆に戻つて、各自の手に入るといふ有樣である。それ故客に行くにも砂糖を懷中して行かなければならぬのである。その他肉、バタ、乾酪等皆制限して居る。

▲佛蘭西も世界の名物になつて居るその麵麭が、今は白い味ない物になつて居るが、まだ他の國よりはましである。昨年十一月に制限令が出て、勞働する者は一日六百グラム、座食する男は四百グラム、女は三百グラム、十二才以下の子供及老人は二百グラムに制限されて居る。

▲獨逸の窮乏は甚だしく、黑麵麭一斤六十錢位もする、それも手に入れるにははる〳〵市中に出て行かねばならぬ。それ故赤ん坊を襤に包んで、鐵道で瑞西に送ると、其の慈善團體の手で僅に救はれるが、瑞西自身も困るので、またこれを佛蘭西に送ると何處の子供か知らないで慈善團體が助けるが、多くは營養不良に陷つて死んで終う。

▲食糧に豐富な米國も非常な節約をし、一月十七日に大統領に食糧節約を宣言し、月、水の兩日は小麥なし、火曜は牛肉なし、土曜は豚なし日と定め、砂糖、バタを節約する爲めに、パンにはジャムを用ふるとか、馬鈴薯の殘りは干して用ふるとか種々の制限を出して居る。

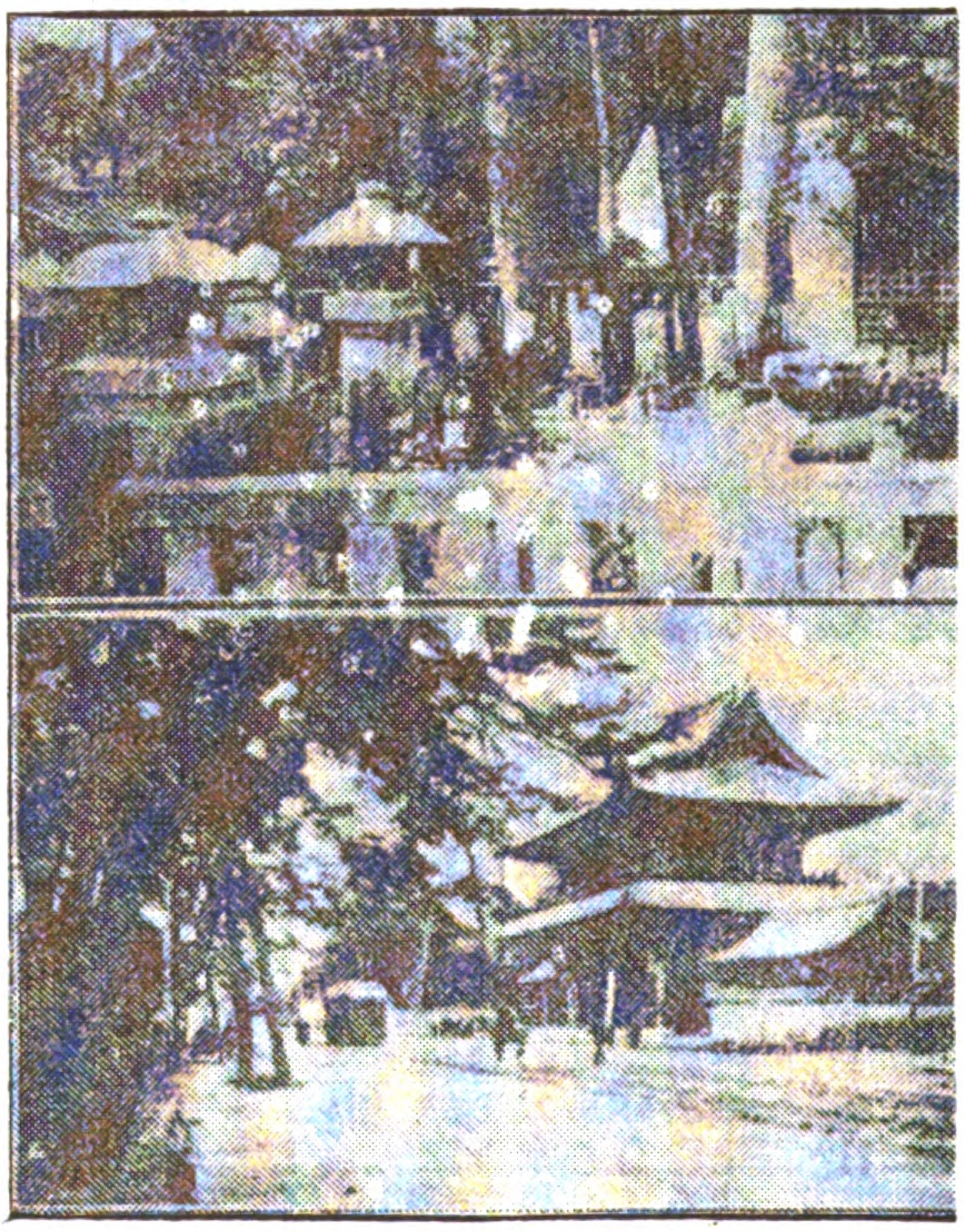
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京見物

其の六日

芝公園と高輪泉岳寺

▲北から南へ眞一文字に走る三田行電車に乗つて芝公園へと行く、丘陵高く緑濃い上野に次いでの大公園である。櫻並木と藤棚と松林とは自然のまゝに生ひ立つて、人稀な園内には松籟鳴り渡る、緑の陰に赤い宏大なる伽藍は見えかくれに浮き出る。▲三縁山増上寺は關東淨土宗の總本山、徳川家の菩提所として知られて居る。山門は三百餘年の昔の建立で東京隨一の樓門である。櫻咲く此頃は參詣人が多い。増上寺の寶物の中には、五百羅漢の幅、土佐吉光の法然上人繪巻物、後二條天皇宸筆、後伏見天皇宸筆の阿彌陀經、將軍秀忠公の甲冑等數百點の尊きものがあるときく。文昭院、愼徳院、臺徳院等各將軍靈廟は徳川時代の美術建築等の精華を蒐めたもので日光に行かずとも結構である。就中善美の限を盡したるは臺徳院秀忠公の墳墓である。金碧かゞやく六角堂、中にある金色の寶塔こそ公が永へに眠る墳墓である。寶塔の前には名工左甚五郎が刻んだ天女が永久舞の姿を止めてゐる。▲朱塗の門と老松と五重の塔の針頭は木立の中に見えつかくれつ、眺望に富んだ丸山の丘陵は目前に品川の風光を瞰下する。山の頂には伊能忠敬の記念碑あり、山下には板垣伯の壽像あり、西の丘にうねる白い道を辿れば、粋を集めた紅葉館あり、露けき頃秋の萩がそゞろに偲ばれる。再び表へ出づれば青銅製の弟橘姫の像はひれふりけりしやさしの姿が五十一尺の塔上に立つて居る。こは過ぐる日露役に壯烈なる死を遂げた御用船佐渡丸遭難記念の塔である。目を附すればその周圍には戰利品の機關車がとりまゐてゐた。



（上）四十七士の墓
（下）東京隨一の樓門芝山門

▲向ふ所は高輪の萬松山泉岳寺日本武士の龜鑑として海外に名もしるけし四十七士が墓所である。電車からは一つの坂を昇る。義士の目標ぎざ〳〵の黒白の染拔が軒を並べた店にもしのばれる。墓門を入ると右は淺野家の墓で冷光院殿淺野長矩の墓は苔むし古びて、裃長袴に青いさかやきの跡の美しい若殿様を此下に偲ぶには餘りに粗末である。前を過ぎて右すれば、これぞ思ひ溢るゝ四十七の墓は默々として居並ぶ。西北の隅が大石良雄西南の隅が主税其の他は凡てみすぼらしい二尺許りの墓石が四方に並んでゐる。大理石の輝く墓石よりは、苔むした二尺の石に、こもる魂のいかばかり尊く懷しいか知れない。じめ〳〵と濕つた黒土の上に佇立して低徊去り難き身に、藪の蟆子は攻めよる。墓門を出でゝ右すれば義

九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

士の木像堂がある。▲首洗井戸の前に立つて血に染みた上野介が首級を想像する、前には男の中の男天野屋利兵衛の碑が立つてゐる。忠臣藏のお芝居に出る、男でござる天川屋義平が即ちそれである。義士等には實に椽の下の力持、元祿十四年極月十四日の復讐の用に入要なる兵器の凡ては彼れが調達にして、拷問に逢つても實を吐かざる俠商の張と意氣地は、賄賂騷ぎで縲紲の惱みにある大正實業家とやらの比ではない。▲主稅梅、瑤池梅あり、瑤池梅は淺野長矩の後室瑤池院が妙海尼に賜はつたものであるといふ。妙海尼は堀部金丸の娘、安兵衛の許嫁であつた。美しい姿を尼と變へ淺野家の墓守となりへ寂しくも﨟たき八十の生涯を終つたのである。

＊　＊　＊

▲歸路の坂路を下りながら眺むれば、品川の海白く光りて點々たる臺場は、水の面に浮き出で〻呼べば應へん風情であつた。

女性的露西亞

▲片上天弦氏は廿三日日本女子大學校內櫻楓會講演會に臨んで、「女性的露西亞」と題し、最近歸朝の露國土產をひろげられた。▲露國人は女はもとより男も老人も子供も凡て丸味のある柔かい線で出來て居つて、肉體的に見ても女性的であるが、更らに內面的から見ても女性的である。彼れ等露國人は凡て無政府主義者で、政事に興味を持つて居ない。民衆の上に超つて、これを支配し、統卒するには誠意と共に方策を必要とするが、溫かな心情から、眞實な言葉を吐き、行動をさりたい彼れ等には、その方策を喜ばない。それ故統卒する者は誰れでもよい。只自分達の生活の自由と平和とを護つてくれる者でさへあれば、他國人でも構はぬといふ有樣は、恰も花婿を待つ花嫁の如き態度である。」▲「更らに渺茫として際涯ない平原に住む彼れ等には自然この地平線の盡くる處迄尋ねて行けば、彼れ等の救ひ主に遇はれるであらうかとの憧がれの心は、漂泊欲を誘び放浪生活を送る者も可成り多く、精神上にもラスプチンの如き妖僧や巫女の誘惑にか〻る事が多い」と。

讀者から

神戸安保菊野様から「越後の雪の國から先き頃此處に引移つて、都に住めば、勿體ない心地がいたします。今は花の盛り、あちこちの人は花見さて、須磨、明石に出かけます。清らかな思想の溢る〻週報を手にする度に、天よりの祝福いよ〳〵益々此の誌の上に豐かならんことを祈ります。けふは聖日の朝、今し届いた御誌の徳富老刀自の賀筵の記事を見て涙に顔をぬらしました。かくも靈に充ちた母君を持たれた方の御満足さをお察し申します。祈りは私の使命であると、身體のお痛みにもなほ感謝しつ〻お祈りになるとは、何と清い雄々しいお方でいらつしやいませう。聖歌に「心清き人は常に父なる御神を見て樂しまん」とあれば、將に老刀自の事でございます。顧みて我が身を見れば、夫の半身として、また助手として、二人の子供の母として、實にお恥しい事許りです。この後は及ばずながら、老刀自にならひたいものと、つく〴〵寫眞を拝見いたしました。」

会員募集　家事裁縫研究會

本校に於て家事裁縫兩科の研究會を毎日午後四時より二時間開會講師は各専門の大家にして文部省の檢定を受けらる〻方にも又府縣の檢定を受けらる〻方にも一般研究者の爲めにも適應す本校家政部高等科の生徒は聽講隨意

開講　四月十五日

東京市麹町區上六番町七
私立　大妻技藝學校
電話番町一二二〇番

弊店の特色

御召　織式　縞染

△古手物モ新規同様ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候

中澁谷六百十八番地
(玉川電車通西郷邸前)
百足屋染物店
平田孫太郎

シンガー裁縫院　生徒募集

●和洋服刺繡(東京有樂町一ノ五)
●ミシン專修　●毎月五日迄入學

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

音樂の學習

かやうな注意がありたい

鈴木のぶ子

□音樂と世間の理解

音樂に對する世間の理解は、この數年隨分進んで參つたやうに存じます。頻々開かれる音樂會にも、お義理や社交上と申すよりも、ほんとうに音樂を好んで御出席の方が多くなつたのは喜ばしい事でございます。然しまだともすると家庭や學校では「あの子は身體は弱し學問が出來ないから、音樂でもさせたら」と申すことを、往々耳に致します。これは音樂が遊戲でもあるかのやうに誤解なさる爲めで、そのお子さんにとつては勿論、音樂界にとつても殘念な事と存じます。

□頭の　人耳の惡い人

音樂は他の學問、藝術同樣に勉强の大切なことは申す迄もありませぬ。然し頭の惡い人、耳の惡い人は、敎へる人敎へらるゝ人がどんなに骨折つても、上達の見込みがございません。それ故專門の音樂家は、選ばれた少數の人であらねばなりませぬ。私が多年學校でお敎へして居て、惜しいと思ふ豊かな天分を持つた方も、家庭や周圍が、音樂家は危險な商賣かの如くお案じになつて、其の天分を發揮させずに終ふ場合の多いのなども、またこの上なく殘念な事に存じます。

□その學習を初める時期

何時頃から音樂の學習は始めたらよいかと云へば、器樂は十歲以下の成るべく早くからがようございます。聲樂は男子ならば聲の變り目の十五六歲から、女子も同樣に多少聲に變化のある同年齡からが適當であるやうに思はれます。この時期にぐつと聲が良くなる者と、否とが分れ、從つて其の天分を引き出すよい指導者が必要でございます。勿論幼稚園時代から、調子のよいオルガンやピアノを耳に入れ、たとへ遊び半分にいぢらせるのでも、正じい調子のものを耳に入れる事が、大切です。この時代に注意を怠つて、間違つた調子を聞かせますと、非常に耳を惡るく致します。女學校時代になつては、進んで洗練された音樂を聞かせる事が大切で、保護者に同情があつて、音樂會等に屢々伴ひ、よい音樂を耳に入れる事が出來れば、誠に幸福です。

□練習の時間

器樂の練習は、日に何時間でも、すればする程よろしいと申します。ピヤニストの久野久子女史の如きは、お若い頃日に八時間の練習は缺かさなかつたといふ事でした。然し聲樂は歌ひ續ける事はよくございません。十分位歌つて、日に五六回が適度でせう。餘り咽喉を使ひ過ぎると、所謂苔の立つた聲になると云つて嫌ひます。

□豐富な内生活

西洋の方が日本の音樂家には壯麗に彈く人はあつても、詩的に彈く人がないと批評されますが、ほんとうに名曲をも自分のものにして彈ける位、音樂家に豊かな内容がなくては、詩的に彈き、或は歌ふ事はむづかしうございます。それ故常に文學的の讀み物をして、内生活を豐富にすることは、音樂の練習と共に相待つて望ましいことでございます。

* * * *

十一

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家畜の病氣

狂犬に注意せよ―

□普通ある皮膚病

家畜と申しても、子供に餘計接近する犬猫が病氣、皮膚病等に罹つたとしたら、その場合人間に傳染するものがあるかといふに、私共の經驗によると嘗てないのです。犬の皮膚病で普通あり勝ちの疥癬菌で惱まされ、局所が充血し、脫毛し、疲勞するのなどは、犬同士には傳染しますが、人間には傳染はしません。只皮膚病で、膿を持ち、全身に蔓延して、臭氣を發するものは、不治のもの故、早く撲滅しなければ、或は人間にもうつらぬとも限りません。

□アルボースの洗滌

犬の蛔虫や十二指腸虫は、人間のそれと酷似して居るので、或は子供等に傳染りはせぬかと、目下研究中ですが、これは皮膚病程、その病源に接近するものでもありませぬから、犬の方を早く治療してやればよいのです。病氣の節は仔犬ならば家畜病院に入院させるよりも、診察を乞ふた上藥を貰らひ、養生の仕方を聞いて、却つて宅治療をする方が、運動もついてよろしいのです。日常皮膚病を防ぐには、アルボースで洗滌してやれば、多少の細菌は殺されるので、常に清潔になつて居ります。猫は一體に感受性が鈍いもので、餘り病氣にはならず、且つ營養さへ屆いて居れば、洗滌してやらなくても、獨りで清潔にします。

□犬に嚙まれた場合

家庭で一番注意しなければならぬのは、狂犬であります。もし犬に嚙まれた節は、その犬を交番か家畜病院で狂犬か否かを鑑定して貰らひ、狂犬の疑ひでもあれば、勿論注射しなければなりません。病源體が身體に入つてから十日間位の潜伏期はありますから、充分その犬を鑑定する餘裕はあります。犬が狂犬に嚙まれて、發病すれば、一週間乃至十日間で死んで終ひますから、大抵は狂犬と氣付かぬ間に、人を嚙みつくので、從つて嚙まれた場合は、畜ひ犬でも注意しなければなりませぬ。

□捨犬をせぬ事

狂犬を豫防するには、野犬を撲滅して終ふことです。日本にも犬殺しがあつて、頸輪のない犬は、どん／＼殺して居ります。然しも一層注意深くするならば、捨犬をしない事です。捨てる前に殺して終ふ方が、犬にとつても慈悲であり、人間社會

お化粧問答

問　私は顏が青くてお化粧が引立ちませんが。（赤坂　澄江）

答　お顏の色の青い貧血症の方は常は滋養分をお採りになり、内服藥としては、貧血病に大効ありとして大好評の中山化學工業所新發賣品過酸化マグネシウムをお用ひになり、尚ほ適當の運動を遊ばして新陳代謝の機能を旺ならしむると同時に、お化粧で之を補ふやうに努められるが肝要でございます。お化粧法としては舶來石鹼以上の稱あるクラブ洗粉で御洗面の後一番よくきくアレ止め兼用の美身劑クラブ美身クリームを平にお顏に擦込み、一番高尚で美しい艶の出るクラブ白粉で丁寧にお化粧を遊ばした後、近頃大評判のクラブ頰紅を兩頰から目の下に刷付け、際立たぬやうにぼかし、其上からクラブ粉白粉をセーム革につけて薄く打つて置きます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

にとつても安全なことです。私の近所に住んで居らるゝ西洋の御婦人は、瘠せこけた捨犬を道で拾つて來ては、殺してくれと幾度もお持ちになりますが、日本の方は、殺す事は非常に嫌つて、却つて多くの災ひを蔓延させ、犬にも氣の毒な思ひをさせて居ります。

（市ヶ谷渡邊家畜病院長談）

筍の料理

蛋白質に富むもの

筍は昨今やう／＼安價になつて參りました。蛋白質に富むこの食品は、總菜用として、肉類の高い昨今、殊によいと思はれます。

□茹で方　筍は皮の儘大切りとし、米の磨ぎ汁で茹でるか、又は米糠を一握程入れて茹でるかすれば、早く柔かになります。又筍に苦味、或はゑごみのある時に、唐辛子を丸の儘入れて茹でれば、苦味もゑごみも取れます。

□筍の射込煮　茹でた筍の皮をとり、首尾兩端を切り去り、節を悉く抉り抜き、其の中へ豆腐、栗、椎茸等適宜に味をつけ置き、十分に詰め込んで酒と醬油、砂糖で煮あげ、小口から四五分位の輪切りにして出します。もし上等にすれば、鯛などの魚類の肉を細切りとし、酒と砂糖、醬油で煮たものを詰め込めば更らによろしうございます。

□筍のそぼろ懸け　茹でた筍の皮を剝いて、小口から三分程の厚さに切り、鍋に酒と砂糖、醬油を等分に入れて沸騰せ、右の切つた筍を投じ、暫く煮て掬ひ出し、煮汁の中に豚肉を入れて煮込み、其の煮えた所に片栗粉を水溶して流し込み、能く攪廻しつゝ沸騰させ、筍を盛つた上から此の煮汁をかけ、之に粉山椒を振り懸けて出します。

□筍の附燒　成るべく肉の厚い筍を選んで、皮を剝き、中程から根の方を切り去り、上の方を縦に二つ割として竹串に刺し、炭火の上に載せて兩方を燒き、之に胡椒と醬油と味淋とを混ぜ合せて二三遍程塗りつゝ燒きあげ、串を拔いて適宜に切り、皿に盛つて出します。

□燒筍　筍の根元の皮を四五枚剝いて大切りとし、米糠を加へて茹で、皮を去りて能く水にて洗ひ、二三分程の輪切となし、餘り太い所は二つにも四つにも適宜に切り、炭火の上に鐵網を載せ、其の上に並べて少し焦げ目の附く程に燒き、煉り味噌を十分に兩面から塗つて皿に盛り、木の芽一二枚を添へて出します。

□筍の木の芽田樂　筍を前のやうにして茹で、皮を去つて能く水にて洗ひ、味淋と醬油と鰹節で淡味をつけ、笊にあげて能く水氣を去り、金串二本にさして炭火で兩面を燒いて焦げ目をつけ、木の芽味噌をつけ、再び火にかけて炙り、金串を拔き皿に盛つて出します。

木の芽味噌は、山椒の若芽を摘み取り、水にて洗ひ、擂鉢にて能く擂り潰し、其の中に赤味噌にても、又白味噌にても、好みに依つて入れ、更に能く擂り潰したのを裏漉にかけ、之れに煮返した酒と砂糖とを加へ、味淋を用ふる時は、砂糖は甘味を好む程度によつて加減し、ドロ／＼に溶けたのを弱い火にかけ、餡を煮詰むる時のやうに杓子で絶えず攪き廻し、焦げ付き易いもの故、注意し、餡の少し柔かい位迄煮て、鍋を下ろし、猶ほ暫くの間手を休めず攪き回はし、器に盛つて置く時は、冷むるに隨つて固くなります。

れば、お顏の色艶がホンノリと櫻色になり、如何にも花やかな色が現はれますので春の御外出に際しては別して此クラブ頰紅が珍重されます。クラブ頰紅は他に類のない健康色白粉で、發賣以來引續き皇后宮職や各宮家の御用を拜し尚貴婦人令孃間に非常な好評を博して居ります。

問　前號で見ました化粧用過酸化水素水と申しますと、塗けた上へ直に化粧品を使つても害にはなりませんか。（小石川　紫代）

答　化粧用過酸化水素水は大阪南區水崎町中山化學工業所から發賣されて居ります。此新發賣の藥品はお顏の地肌の荒れを直し、痤瘡、雀斑算の跡を消し、お顏の脂肪を去る等不思議な効能があるのみならず、色を白くする事は既に御承知の事でございますが、其外に口中の病には之を二三倍に薄めて含嗽をなされば、直に根治致します、從つて近來、外科、皮膚科、齒科等の醫師の使用高も夥しく增しました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

支度は前晩に

かうすれば廿分內外で朝の支度が出來る

斬雲

□子供等の遲刻騷ぎ

子供等は學校へ行く、主人は一分違はず勤め先きへ出かけるといふ家庭になると朝の支度は可なり急がしい事と思ひます。現に私自らの經驗で言つても子供等が學校が遲くなるとて每朝の騷ぎはえらい事です。そこで私は朝の支度は、出來る丈け前晩中にするといふ方針にしました。大家族になるか、堅實な老人でもあると、朝起きも早く時間の間違ひもないのですが、小家族になると、前夜々更かしすると、翌朝主婦の目が澁い爲め、遂ひ時間が後れる事があつたりします。

□朝飯前の準備

主婦の側でいふと朝起きて飯を炊く、炭火を起す、掃く、拭く味噌汁を煮る、膳立てをするといふ順序です。之が爲めには可なり時間が掛ります。併し眞夏の食物腐敗し易い時季以外には、右の中大抵は前晩中にやつて置けるのです。第一飯は晩に炊いて、朝は炊かない方針そして普通の家庭でいふと、晩が一家打揃うて樂しい、食膳に就くのだから、炊きたての御飯とし翌朝は御飯蒸しで溫める事にすると廿分はかゝりません。味噌汁も前晩煮て置いて翌朝には一寸溫める位にすると之れも時間は掛りません。若くは味噌汁を晩と朝と二度食ふとしても宜いでせう。夫れから掃く事は、前夜寢る前に食事室丈けは掃いて寢るのです。朝大急ぎで掃いて直ぐ膳立てをすると、天井迄飛び揚つたごみは、皆んなお膳の上へ落ちる道理です。拭く事は朝飯後一家出拂ひになつた後で主婦がゆつくり叮嚀にやると好いでせう。特に冬の寒い時は、日が大分上つて、暖かくなつた時が好いでせう。

□普通の家庭は晩は閑ま

斯うすると、朝にやる事は、唯だ炭火を起す事丈けです。之れも鐵條細工の火おこしで、瓦斯へかけると、十五分は掛りません。之れなら、起きて三十分すると、お膳へ箸が付けられるのです。で學校時間の一時間前に起きても間に合ひます。普通は二時間前に起きなくては、遲刻するものと目されて居るのです。そこで問題になるのは、晩に果してそんな暇があるかといふ事です。王侯貴人、富豪の生活は殆ど每夜の樣に長夜の宴が張られ、之れに招かれる人も遲く歸宅するから、晩は忙がしいのです。其の他勤め女、女優、藝人など、皆な晩が急がしいのです。斯ういふ人々は午前といふ約束は無いのです。併し、國家社會の基礎を、爲すべき純良な家庭は、總じて晩はゆつくりした閑な時間です。

□子供等の習慣改良

次に子供等の側からいふと、朝起きてから代る〲臺所の流し場で齒を磨く爲めに場所を塞げ且つ時間を要するのです。で之れは、前晩寢る前に叮嚀に齒みがき粉をかける事にし、朝は含嗽丈けで濟ませるのです。夫れから、便所通ひも晩に一回といふ習慣にしたいと思うて居ます。子供等は能く夜中に大便通ひを始めるもの故、寢る前に行く習慣にすると、翌朝は閑が出來ます。それと、カバンや、草履其他の七ツ道具も、前晩中に支度して置くと、翌朝はうつかり寢過した時でも最大急行で學校の鐘に間に合ふのです。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

金の鵞鳥

（中）

悠子

小人のお爺さんは、二郎にむかつて、昨日と同じやうなことを云ひました。けれども二郎はもしもこれをお爺さんにやつて仕舞へば、自分の食べるのがなくなつてしまふと思ひましたから、「お爺さん損だからいやだよ」と云ひました。するとお爺さんは默つて行き過ぎてしまひました。

二郎はなほも奥の方へ行きますと、いゝ場所が見つかりましたので、其處でお辨當を食べてやがて木を伐りはじめました。斧を振り上げて木の枝をスポッと切らうとしますと、どうしたのか、手が震へて、自分の足の上に斧が落ちてしまひました。二郎は兄さんと同じやうに怪我をしてしまひました。でやつぱり同じやうに泣顔をして、すご〳〵と家へ歸りました。

すると三郎は兄さん達二人が失敗したのを見て、自分はひとつ上手にお父さんの代りをしたいと思ひまして「どうか私をあした山へ行かせて下さい」と頼みました。お父さんの樵夫は「兄さん達でさへあんなに怪我してくるのだから、お前のやうなものはとても出來ないから、およし」といつて、なか〳〵許してくれませんでした。お母さんも亦「お前は木の伐り方だつて知らないちやないか、それなのにどうしてお前のやうなものに出來るものですか」と云つて、ちつとも三郎の云ふ事を聞いてくれませんでした。然し三郎があんまり熱心に頼みますので、とう〳〵許すことになりまして、お母さんにお辨當をこしらへてもらつて、その翌日出掛けることになりました。

いよ〳〵山へきてみますとあんまりたくさん木がありますので、どれを伐つてよいのかわかりませんでした。三郎は暫く立止まつてどれにしやうかときよろ〳〵あたりをみてゐますと、其處へ小人のお爺さんがひよつこりやつてきました。そして「私にお前さんのお辨當を少し分けてくれないか。私はお腹が空いてどうする事も出來ないから」と云ひました。

「えゝ上げませう。私と一緒に此處で食べませう」といひながら、三郎はお爺さんと並んで、其處に坐りました。お爺さんは嬉しそうな顔をして、三郎が竹の皮を開けるのを見てゐましたが、やがて「お爺さんさアお上りなさい」と云つてだされましたので、一つ取り上げました。

すると不思議な事には、三郎の持つてきたおむすびは松ぼつくり程の大きさでしたのに、おぢいさんが食べやうとしますと、ベースボールのまり位大きくなつてゐました。

二郎はびつくりしながら、自分も一つとつてみますと、やつぱり大きくなつたので急いで兩方の手で持ちました。どれを食べやうとしてもみんなさういふ風に大きくなりますので、二人はたくさんに食べることが出來ました。それから三郎は持つてきた水を飲まうとしますと、瓶が熱くなつてゐましたので、飲むとそれはお湯でした。お爺さんはニコ〳〵しながら、それを飲んでさて云ひますには、

「お前はほんとに親切ないゝ子だ。私にこんなに御馳走してくれたお禮にお前にいゝものをあ

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

げやう。あそこに大きな木があるだらう。あの根本をお伐り、そうするときつと何か見つかるから、それをお前に上げやう」

そういふかと思ふとお爺さんの姿は見えなくなつてしまひました。三郎は何だか嬉しくてたまりませんでしたので、急いでお爺さんが教へてくれた木の所へ行つてそれを伐りはじめました。三郎は何を見つけたでせう。（つゞく）

手紙（十七）

渡邊たみ子

「まあ何て綺麗でせう、まるで天國のやうだわ。遙々と見渡す限り只紅の花、濃いのは燃える火の色に薄いのは櫻の花か薔薇色位、細かな花瓣の、忽忘草に似た形のが紫陽花のやうに三十も五十も群り咲いて葉は僅にちら／＼と見えるばかり。微風さら／＼と花を渡れば、縮緬のやうに小波を寄せて、緑を交ぜた緋鹿の子が赤地友仙を一面に曝らした時の京の鴨川はかうもあらうと思はれる位、あまりの美しさに私は呆れた樣に茫然として佇んで居たのです。

「一體此處は何處だらう、そして私は何時如何して此樣所へ來たのか知ら」

ふとさう考へたのですけれど、それに向つて何とか解釋をつける間もなく、其の自問も直に消えて仕舞ひました。今かうして紅の花園に佇んで居る私の頭には過去もなければ未來もないたゞ永劫の一部なる現在の、刹那の快さがあるばかりです。私は默つてさら／＼と風に聲ある花の囁きに耳を傾けました。何と云ふ甘い言葉でせう。肉體を溶かし、心を融かし、魂までも鎔かして仕舞ふやうな其の囁き私は蕩然として醉ふた樣になりました。あゝ何と云ふ靜けさであらう、鳥の唄も水の流れる音も聞えぬ。朱鷺色に匂ふ空氣は妙なる香りを含んで、私の胸の奥の奥まで沁み込んで行く。私は一歩前に進んだ。袖が觸れたのか小さな花瓣がひらりと溢れたと思ふ、と翩翩と舞ひ上つた紅色の蝶二つ、私の眼の邊りをかすめるやうにひら／＼と舞ふのです。私は覺えず瞼を閉ぢました、睫毛に羽袖が觸れるかとばかり羞痒つたいやうな氣がするので、暫くぢつと眼を閉て居たのです。

　すると輕い靴の足音がして頬に近く人の息するけはひがします。驚いて目を開くと制服姿の

精さんが明るいお顔を私の前に活々としたお聲で

「よく、來て呉れましたね、僕先刻からどんなに待つて居たか知れないのです。」

「一體此處は何處でせう、私どうして此樣處へ來たのでせうか知ら」

「僕が御招きしたのです、御覽なさい彼處に小さな家根が見えるでせう、彼處が僕の住んでる家なのです。此の花園は學校から與へられた僕の試驗場です。」

「美しい試驗場ですことね、此處は貴方御一人切りですか。」

「否、さうでもないけれど今は僕一人だけ居るのです。」

「お淋しくはない事？」

「淋しい事はありません　僕は毎日此花と話をしたり遊んだりしますから」

「此花は何と云ふ花で御座いますの、私なんだか前の世にでも見たやうな氣がしますけど、」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「忘れましたか園子さん、僕白山の山奥で書いた端書の事を。」
「あの血の色の花の事？」
「えゝ、それです、それです、僕は貴女に上げたい一念であの花を大事に大事に育てたのです。東京へ持つて歸つて鉢植に植えて暫くすると二つの蕾は同時に美しく咲きましたけれ共一つは漸と半開になつたと思ふ間もなく、何の虫か又小鳥が、蕊の處から喰ひ切つて仕舞つたのです。僕どんなに悲しかつたでせう。殘つた一つの花を大切にしてそれが結んだ實から取つた種子を此花園に蒔いたのが、今咲いて居る此の花です。一つの花からこれ丈澤山の花が咲くとは奇蹟のやうぢやありませんか。」
「奇蹟ですわ、ほんとに奇蹟で御座いますわ、私去年から此花を見たい〳〵とどんなに希つて居たでせう。恰度私が想像して居た通りの花ですのねだけど此様に澤山咲くだらうとは夢にも思ひかけませんでしたのよ。」
それは僕が咲かせたのです、僕の一念が凝つて此の花になつたんです。」
私は瞳を凝らして一輪の花を見つめました。血の色の花、ほんに鮮な血の色の花、何と云ふ强い色でせう。私は其の花に魅せられたやうに不思議な心状態になりました。あゝ此の花の露が吸ひたい。甘露のやうな、酒のやうな。そして酔ひ度い。酔ふて快い夢に入りたい永久に醒めぬ眠りに、眠つたまゝに此の花の露にすうつと消え度い。
と見ると、精さんは大事さうに一輪取つて唇に。
「旨しい事？」、其の花の露」
「えゝ」
「毒ぢやないでせうか。」
「毒と云へば毒なのかも知れません。」
「毒ならば貴方其様に御吸ひになつたらいけないわ、御止しなさいな」
「僕には毒ぢやないんです、靈藥と云つてもいゝんです、貴女も吸ふて御覧なさい。」
さう云つて一輪採つて下さいました。
「あゝいゝ香り、まあ舌が溶けて仕舞ひさうよ。」
甘美いと云はうか酢いと云はうか何ともかとも譬へやうのない露の味に舌ばかりではない魂までも融けて仕舞うかとばかり、
「ハヽヽとう〳〵其の花の露を吸ひましたね、園子さんそれは血ですよ、僕の血ですよ
「えッ血ですつて？」
愕然として飛び退くと花も精さんも一時に消えて、ぽつかり眼を開くと、友の寢息のすや〳〵と寮の一間の窓に明るく殘月の影が。

蛋白質に富む
植物ミルクフード
見本袋入拾錢 郵税二錢
三十回分五十錢
小包料市内四錢内地八錢
滿、鮮、臺、樺、金廿錢

救命瓶
並製金參圓
特製金五圓
學生用一組金一圓四十錢
送費〔内地卅錢。滿、鮮、臺、樺、金五十錢。〔海外金參圓

婦人週報社代理部取扱
振替東京三一六六〇番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

口電氣博へ行幸啓　天皇陛下には廿五日午後一時電氣博覽會に行幸、皇后陛下には翌廿六日午前九時御出門同博覽會へ行啓あらせられました。

◉内閣一部更迭　天皇陛下には廿三日午後三時、宮中御座所に於て、左の通り内務大臣及び外務大臣の親任式を行はせられました。

内務大臣兼鐵道院總裁正三位勳一等男爵　後藤新平
任外務大臣
内務次官正四位勳二等法學博士　水野錬太郎
任内務大臣
外務大臣正三位勳一等法學博士子爵　本野一郎
依願免本官

なほ本野子爵は宿痾胃加答兒療養の爲、近々轉地さるゝ由。

◉鐵道院總裁親任　後藤鐵道院總裁廿三日外務大臣に親任につき、中村副總裁に對し、左の通り鐵道院總裁親任の辭令がありました。

鐵道院副總裁正四位勳二等　中村是公
任鐵道院總裁

◉遣艦三度目の活動　地中海に於ける我が驅逐艦が與國の運送船を護衛して、某地點より某地點に向つて航行中、四月十一日夕刻敵潜航艇一隻を撃沈しました。我驅逐艦が敵艇を撃沈したのは今回が三回目であります。

◉西伯利獨兵の退去　二十日附獨逸外務省宛露國無線電信に曰く、獨逸俘虜は東部西伯利より即時退去せしむる様手段を講じたりと、

◉本願寺派遣僧捕はる　西本願寺滿洲里派遣の僧侶上納師は密書を携帯せる爲め、過激派に捕へられたと傳へられます。

◉十三烈士を追悼す　十有五年前哈爾賓郊外の露と消えた志士横川省三及び沖貞介氏其他松崎保一、中山直熊、脇光三、田村一三氏等六人の特別任務隊を初め堀部直人、奈良崎八郎、橋口少將、伊藤少佐、安永東之助、吉原四郎、井澤彦三郎、等十三烈士の追悼會は四月二十一日午前十時芝靑松寺に營まれ、志士等と最も關係深き内田大使や齋藤、福島　上原大將、頭山滿、寺尾博士、田中舘博士、小川平吉氏等數百名相會し、遺族横川融三、同律子、沖莊藏以下の諸氏が參會して盛會でありました。

◉卒業飛行又も不成績　所澤陸軍航空隊第六期練習將校の卒業飛行は十九日より廿一日まで擧行され、所澤伊勢山田間を飛行しましたが第一日に一機大破し第二日に一機傷き、無事所澤へ歸翔したのは二機に過ぎませんでした。

◉米穀取引停止　仲小路農商務大臣は十六日午後三時取引所法第廿七條に依り、全國米穀取引所に對し、當限及び中限の取引停止を命じました。之れは政府が種々苦心をする甲斐なく米價愈々高く、殊に期米の當限（其月中に受渡を爲すもの）中限（次月中に受渡するもの）は此儘放任せば社會一般に惡影響ありと認めたる爲めの立會停止でありますが、十七日は東京取引所にて先限の相場一度は四十二錢高を示し後場に於て四十五錢方下落いたしました。

◉萩原博士以下有罪　八幡製鐵所員の收賄疑獄は福岡地方裁判所に於て豫審中の處、十九日一部分の豫審終結し發表されました。元八幡製鐵所臨時建築部長勅任技師正五位勳三等工學博士萩原時次、元製鐵所技師現滿鐵技師布目四郎吉、元八幡製鐵所工務部長瀬尾巧、元八幡製鐵所書記日下寅次郎・同楠本才藏、成田久、渡邊友彦の七名は收賄側、東京高田商會責任社員高田信次郎、大倉組取締役大倉發身、鹿兒島商業會議所會頭第百四十七銀行頭取有馬純俊以下十八名は贈賄側として何れも有罪と決定し近く公判に附せられます。豫審決定書に依れば萩原博士の收賄額は廿萬圓近く此の疑獄の首魁と目されて居ります。

◉東京府の長者　前號にて報道した分は未確定のものでありましたが廿日府知事の告示したものは左の十五氏であります。

納税額八萬九千餘圓の鋼鐵商森岡平右衛門を筆頭に、村上喜代次（鋼鐵商）安田善三郎（銀行業）大野宗太郎（鋼鐵商）栗原幸八（織物製造）中村万之助（船舶漁業）堀越角次郎（貿易商）河合佐兵衛（鋼鐵商）小布施新三郎（株式仲買）林小兵衛（同上）玉塚榮次郎（同上）北島頁（同上）島田利右衛門（毛織物商）山本香（株式仲買）今井又治郎（同上）

安田善三郎氏を除く十四名は總て新顔であります。

◉樞密顧問官の親任　十八日法學博士富井政章氏は樞密顧問官に親任されました。氏は帝國大學に民法を講ずる事卅年の長きに及び民法學者の重鎭であります。

◉板垣伯銅像除幕式　板垣伯が在

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

年岐阜に於て演説中狙撃され「板垣死すとも自由は死せず」と叫んだ處に、老伯の銅像が立てられ伯夫妻列席の上廿一日その除幕式が行はれました。

◉**米一升を献上した老夫婦** 大分縣宇佐郡和間村大字西大堀六七農宮城藏三(七十五)同妻はつ(六十七)は自作米一升と所有地から伐採した薪七本を添へて、長き道へ献上せんと遙々上京し、十九日其目的を達しました。

◉**姉崎博士の歸朝談** カリホルニヤ大學五十年祭に參列し、廿五日波斯丸にて歸朝した姉崎博士の談に『米國の戰爭熱は盛んで同大學から二千の士官候補生を出し、飛行機科には三百餘の學生がゐる、ハーバード大學無線電信科には二千餘人の學生が專攻してゐる』と。

◉**全國青年聯合大會** 一木樞密顧問官を理事とする青年團中央部にては、五月五日より三日間、東京に第一回全國青年團聯合大會を開催するさうです。

◉**さくらの會** 澁澤男を會長とする櫻の會は廿三日午後三時より帝國ホテルに催され、三好博士、芳賀博士、高島平三郎氏等のお話があり、鉢植の珍種數百種を陳列して會衆を醉はせました。

◉**女車掌の魁** 岐阜縣美濃電氣軌道會社では女車掌を採用する事となり、三名の婦人を敎習してゐましたが、愈々十八日から加藤しづゑ(十九)山田とく(十八)川村いちの(十七)三人は比較的來客の少ない笠松線に乘込みましたしづゑは北海道生れで小學校敎員の免狀を持つて居る由、勤務時間は朝七時から十二時間で揃ひの黑繻子事務服に深ゴム靴をはいて從業して居りますが、客の氣受けもよいとの事です。見習中は日給廿錢、本務となれば日給三四十錢の外に月手當五圓を支給される筈の由です。

◉**慰問日の繪葉書賣り** 聯合軍慰問部の事業を援くる爲め組織されたる同婦人後援會は五月一日を以て慰問デーとなし繪葉書四十萬枚を賣上ぐべく十七日協議會を開き本野外相夫人、小崎、楫本、嘉悅、吉岡、井深、河井、塚本、大江各夫人女史等出席協議の結果各部署を定めました。

◉**結核豫防のフイルム** 日本豫防協會では佐藤ドクトル長田幹彦兩氏合著の結核菌の告白を骨子として、遠山博士が脚色し「惡魔の活躍」「一陽來復」の二フイルムを作り、十八日その試寫をいたしました。

◉**東京市内の自働車** 東京の自働車は四月廿日現在で一千六百十一臺、全國の總數の八割を占めて居ります。大戰前は一ヶ月二三十臺の增加率でしたが此頃は一日四五臺宛一ヶ月百二十臺乃至百五十臺に達する由です。

◉**婦人問題研究會** 廿七日午後五時半より丸の内中央亭に於て早稲田大學教授關與三郎氏の「人種改良と社會改良」の講演ある筈。

個人消息

▲**矢島楫子** 廿四日第八十六回の誕辰を迎へらる、同女史は遠からず越後と南海道を行脚せらるべしと。

▲**久留島福子** 久留島武彦氏長女福子の君は中野秀三郎氏を婿養子として迎へ、廿五日日比谷大神宮に於て擧式せらる。

公娼廢止運動費

(本社宛寄附の分一口金五錢)

安保菊野子(四口)

累計八百三十三口

編輯室より

▲青葉のかげに枳殼が、はやくも卯の花を忍ばせるやうに、眞白い花をつけて、暮春の哀愁を漂はして居ります。市中の諸所にこんな光景を見るのは、いかにも武藏野の名殘を思はせます。▲服部中佐の談片「戰時の歐米」を窺ふにつけ、平和な日本に住む私共は、いかにも幸福であると存じます。この幸福に馴れて、準備を怠れば、更らに二倍の打擊に遇はぬ日がないとも限りませぬ。私共はせめて米國民ほどの緊張があつて然るべきだと存じます。

婦人週報

(每週金曜發行)

定價表

△壹部金五錢五厘(郵税共)
△一ヶ月(四部又は五部)金廿二錢
△三ヶ月(十三部)金六拾六錢
△半年(廿六部)金壹圓廿錢
△一年金貳圓四十錢
△外國一年分金參圓廿錢

廣告料

△特等(表紙の二、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の内側)金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼發行 印刷人 小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所 福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所 婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります、但しこれは依賴者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜木曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内(電話番町四五六六番)
人事相談所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕（但祭日及日曜の他）
院長診察月木金午前及木午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京麹町區三番町卅番地（市ヶ谷見附内）
電話番町 六二番 五一六番

東洋內科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察毎朝（但祭日及日曜及土曜の他）

大黒天印 赤 白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

宮內省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元 甲斐產商店
電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科專門 大野醫院

（入院隨時）
院長 耳鼻咽喉科 大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科
宅診午前 往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町二二五七

東京至誠病院

◎內科◎小兒科
宅診午前 往診午後

藤井診療所

藤井かう子
本鄉區彌生町二番地八ノ三十三號
（電車高等學校前下車）
電話小石川一六四六（呼出し）

產科、婦人科、小兒科

女醫 井出茂代
東京府內藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電話京橋一二二三一番）

家庭衛生講習會

一、目的 家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。
一、場所 赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部內。
一、期間 自每月十六日至翌月十五日水金午後二時より四時迄。
一、講習科 金十圓也前納の事。
一、人員 十名を以て定員とす。
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典 講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催 婦人矯風會本部。
一、講習主任 醫師藤井孝。
右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人雜誌 特別懸賞募集

問題

子供の惡癖を矯正した實驗

賞金

壹等 金參拾圓（壹人）

貳等 金拾圓（壹人）

參等 金五圓（貳人）

子供はいろ〳〵の惡癖に陷りたがるものであります、中にも盜癖、嘘吐く癖などは最も憂ふべき惡癖です。泣き癖、摘み食ひ、間食、寢小便、強拗る癖など何れも厄介の癖で、此の他にも數へ立てたら澤山の惡癖がありませう、而してこれ等の惡癖を嫩葉の中に摘まなければ遂に百歳の後に於ても斷ち難き根を蟠ることになります。是れ婦人雜誌が特に今回賞を懸けて之れが矯正上の實驗及び之れが矯正に試みて有効であると思はれる方法意見を募集する所以であります。然して右應募の原稿は、それ〳〵專門の學者教育者に請ふて精密なる審査を經、等級を定めて婦人雜誌八月號の誌上より順次發表するのであります。何卒婦人雜誌の主意を諒し、左の投稿あらんことを希望いたします。

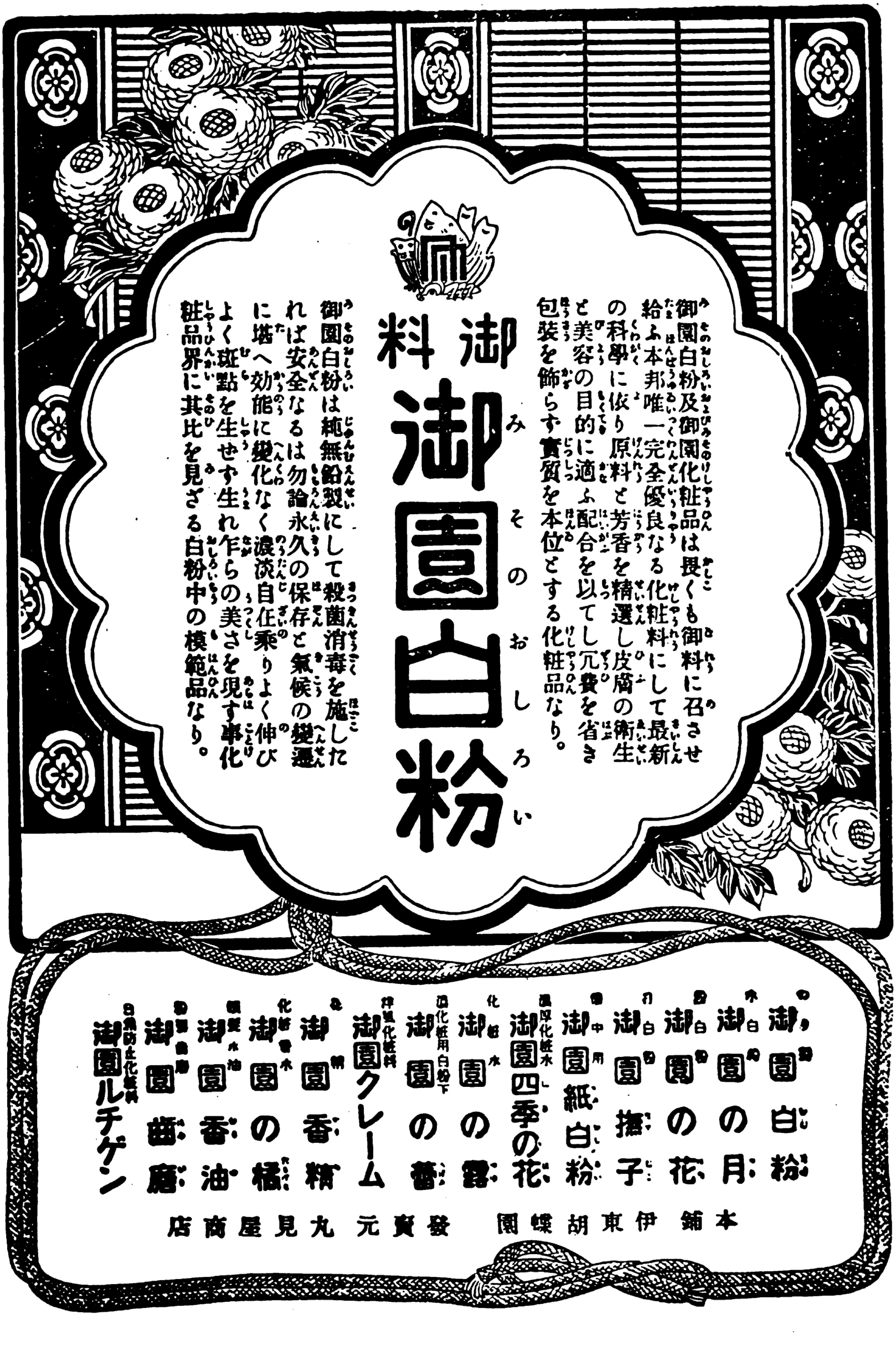
一 應募原稿締切は大正七年六月三十日發表は同八月號の婦人雜誌誌上より掲載の事
一 應募原稿は長短制限なけれど必ず一行二十三字詰に認める事
一 應募原稿の受入れたるものは如何なる事由あるも返還の請求に應ぜざるを御承知の事
一 應募原稿の封筒には『婦人雜誌社』宛名の傍に必ず『特別懸賞應募原稿』と認めらるべき事
一 賞金は『婦人雜誌』八月號に入賞者發表すると同時に贈呈する事

東京神田區駿河臺鈴木町
電話本局三二一八五番
振替東京三三一六〇番

婦人雜誌社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社　電話番町四五六六番・振替東京二一六六〇番



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA